

ハンフォード市へ再び

高橋 香緒理

2011年10月11日 パンパンのスーツケースと共にいよいよ渡米。9年前の10月、高校生で訪れた地へ再び出発。「またファミリーに会いたい！今年がそのチャンスじゃないかな」と思い参加を決意。そこで体験したことをかいつまんで紹介したいと思います。

まずアメリカに降りて一言、暑い！北海道とのギャップがすごかった。気温30度くらいあったかな。



サンフランシスコ観光。PIER39、海の色がとても映える天気にも恵まれ素敵なランチタイム。バスに乗りゴールデンゲートブリッジへ。なんと霧と坂の街、サンフランシスコは橋を見せてくれなかった…。でも一応記念撮影。どうして赤い橋なのかなどなどガイドさん

に教えてもらい次へ。ツインピークスの丘でも霧。ケーブルカーで坂の街を堪能。運転手が手動でケーブルを掴んだり離したりしている。PIER39に戻り夕食。これぞアメリカ！と思わせるメニューがでてきた。味も美味しくいただきました。でもこれが続くのかと思うと先が心配な初日が終了。

アルカトラズ島を見学し、いよいよハンフォードへ！4時間くらいバスに揺られてドキドキしながら消防車先導の元、皆が待つ広場へ。ママが見えた瞬間、嬉しいあまりに涙涙…。

全然変わらないママの暖かい手にさらに涙。一緒に迎えに来てくれていた女の子。9年前、娘が妊婦さんだったのを思い出した。そのときの子どもだった。幸せなことにまた同じ家にステイできたのです。Diaz家みんなが私を快く受け入れてくれて本当に来てよかったと改めて実感しました。

その夜は9年間の時間を埋めるように、私の不十分な英語で楽しいひと時を過ごした。



11月13日 朝から車であちこちの農場見学。クルミ、アーモンド、ピスタチオ、工場。どれもスケールが半端ない。木を揺らし実を落とす作業は目を疑った。農業従事者としては「あり得るんだなぁ」と思った。作業効率はとてもいい。その後、チーズ工場兼ショップを訪ねた。全米でNO.1のナチュラルチーズを試食・購入したり楽しい時間を過ごすことができた。そして、私が一番行きたかった酪農場。もー（牛にちなんで?!）ため息しかでなかった！規模が違いすぎて開いた口がふさがらなかった。まず頭数。1万2千頭！せたな町の人口より多い。搾乳機台数、96台。12時間に見学に行ってる段階でまだ朝の搾乳が終わってない。平均乳量37キロ。大体せたなでは25キロが平均。何もかもが圧巻…。

うちにも30頭牛がいると言ったら笑っていた。日本では農業＝大変な職業ですが、向こうではそうではなく若い人もたくさん働いていたし憧れの職業でもあると聞いてびっくり。日本でもそうなればいいなと思った。

夕方から高校生と成人訪問団とホストファミリーとのフレンドシップパーティー。ハンフォードの高校生が踊りや歌などを披露してくれたり鷓入さんの素晴らしいハーモニカ演奏があったり、以前せたなに訪問したことがある方などと再会し私のことを覚えていてくれてとても楽しかった。



11月14日 市役所、新聞社、博物館、ホテル、カジノと目まぐるしく見学、訪問しどこに行っても快く歓迎していただいた。ちなみに、ハンフォードに着いた様子が新聞に写真入りで載っている。カジノでは5ドルほど儲けられました。

11月15日 NAVYの航空ショーを見学。気温30度以上の中、爆音のジェット機がくるくる回ったりするのを見て、こんな爆音が毎日近所で聞こえているのは耐えられないなど。でもかっこよ



かった。ただ暑くて最後の Blue Angels のショーだけ見ずに帰宅。アメリカ人の耐久力には驚いた。風もないし帽子も日傘もせずただただ見ている。パッツィーが「I'm fine!」と言っていた。全然 fine じゃないよ。



11月16日 アメリカはまだまだ夏。みんなで海に行くことに。ハンフォードは内陸なので海まで3時間！ビーチで美味しいと有名なクラムチャウダーとフィッシュ&チップスを食べて買い物をしたり、ビーチ散策したり。まだまだ海水浴をしている人がたくさんいた。



せたなと同じ西海岸なので沈む夕日に明日にはお別れかと思うとちょっと切ない気分になりながら帰宅。

戻ってからは荷造り。来た時よりも重たいし入らない。パパもママも次々お土産をくれる。そして見送りには行けないのでパッツィーがお別れにきてくれた。また会おうと約束してお別れ。家族みんなが「カオリは私達の娘で、私達はカリフォルニアの家族だからいつでも帰っておいで」と言ってくれた。いい家族に恵まれたと改めて実感することができた。



11月17日 ホストファミリーとお別れ。何度経験してもお別れは悲しい。またいつか会える日を楽しみに次の場所へ。バスに揺られ5時間 Los Angeles 到着。待ちに待った人生初のディズニー。半日しかないなかで、みんなでアトラクションに乗ったりあれこれ食べ歩いたり買い物したり。パレードもすごくよかった。ミニーちゃんが手を振

ってくれたような気がする。ミッキーの家と一緒に写真も撮れたし、キス&ハグをしてくれて嬉しかった。お土産もどっさり買って初ディズニーを思う存分満喫してホテルへ。夕食はスペアリブ。これでもかとデカイ。さすがの私でも食べきれなかった。でも美味しく楽しくいただきました。

ホテルに戻ってからは成人団だけでbarにて反省会。この時間が楽しくて時間を忘れてみんなでおしゃべりした。

11月18日 飛行機の時間まで約3時間。その間にチャイニーズシアターに行きハリウッドスターの手・足形を見に行った弾丸ツアーのように駆け巡る。チェックインカウンターでカバンが重すぎて開けて分けたり最後までドタバタ劇だった。



空港で初日から通訳として同行してくれた三浦さん、キモトさんとお別れ。2人がこんなことを言っていた。「英語を勉強してアメリカに来るのではなく、アメリカに来るために英語を勉強する。目的を見つけてアメリカに来る理由を作る」と。いつかまた来たいと漠然にではなく来るために何かする、とても心に残る一言。私も理由を作ってまた行こう。

最後にこの派遣事業に参加するにあたり、協力してくれた職場の方、農家のみなさん、家族、今北先生、教育委員会、姉妹都市交流推進協議会など関係者の皆様には心から御礼申し上げます。皆さんのおかげでとても有意義でまた一つ成長(?)した旅になりました。



そして一緒に参加したメンバーのみなさんにも本当に助けられてお世話になりました。ありがとうございます。

これからもこの事業にたくさんの方が参加し、せたな町とハンフォード市の交流が末永く続くことを願っています。